



霞ヶ関の解体と小さな政府への転換

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

小さな政府と多様な民間政治組織におけるワシントン DC におけるアメリカの政治形態への転換を提言するものである。これは霞ヶ関の解体と小さな政府と自由な民間活動におけるレーガノミクスへの転換を行う。これらは全く同じ双子の赤字という現実への正しい選択であると考ええる。

他方においては財政の健全化と産業の次世代基準への転換を官民協力において実現する。

教育改革と新しい外交における世界へのプレゼンス構築、社会の次世代システムへの転換と行政システムの全 IT システムへの転換は、これらすべての革命的現実として同時に実現するものである。

自衛隊の次世代基準への転換、新規宇宙技術における宇宙産業の育成、自己経済基盤を世界との新たな連携と経済協力システムの構築を提案することなど、これらは既存システムがもはや通用しないことへの正しい判断として、国家の転換を有能な人材の登用において行うものである。

明確な理解の要求は、既存システムがもはや悲鳴をあげているのであり、これらは政治のプレゼンスとコンセンサスにおいて新たな国家の枠組みを提案するべきであると考ええる。

これは内閣がすべての決定を行い、多様な民間組織は政治を補佐する。立法、司法と行政は独立し、行政が国家の維持運営を明確に自己に与えられることを要求する。これらはフレキシブルな環境を再度要求するものであり、政治組織の解体は、新しい時代要求への完全な新しい政治環境を構築するものである。

等しく、生活基準を2段階引き上げ、国民の豊かな生活を国家の基盤とする。

これらは国家の舵取りが、唯一未来を可能とするという正しい判断において世界が革命的变化を行うなか、それへ落伍することなく、再度これに到達し、世界との対等なプレゼンス構築を行うための必要な変化であると考ええる。